

在宅療養指導管理料に紐づく 小児の衛生材料支給ベースライン (三重県内病院間情報共有)

医療的ケア児の個別性が高い在宅療養指導管理料に伴う衛生材料物品払出の均てん化を目指し、県内小児基幹病院を対象に外来在宅指導管理の実態調査を行った。それらの結果を基に、数か所の病院関係者で意見交換を実施し、『在宅療養指導管理料に紐づく小児の衛生材料支給ベースライン』を作成いたしました。

本ベースラインはあくまでも目安であり、今後の、医療的ケア児とご家族の診療にあたられる際にお役立ていただければ幸甚に存じます。

三重県小児科医会 小児在宅検討委員会

<https://www.mie.med.or.jp/hp/ippan/shonizai/index.html>

三重県医師会

「小児在宅医療に関する情報『在宅療養指導管理料に紐づく小児の衛生材料支給ベースライン』について」

<http://mie-ped.jp/link/>

三重県小児科医会

「在宅療養指導管理料に紐づく小児の衛生材料支給ベースライン」



目次

－ 衛生材料支給ベースライン －

1. 在宅小児経管栄養法指導管理料
2. 在宅人工呼吸指導管理料
3. 在宅気管切開患者指導管理料

－ 衛生材料支給ベースライン －

1. 在宅小児経管栄養法指導管理料

【加算】 注入ポンプ加算、在宅経管栄養法用栄養管セット加算

材 料	他府県の例	ベースライン ※個別性に合わせて	備 考
栄養ボトル	1個	1～2個	・2個（ポンプがネオフィードENポンプの場合、ボトルと栄養セットは、決まった量を手渡している。）
栄養セット	5本	5本	・油分が多い薬剤や栄養剤を使用の際は、適宜調整。
ポンプ用経腸栄養セット	5本	5本	・油分が多い薬剤や栄養剤を使用の際は、適宜調整。 ・30本（ポンプがネオフィードENポンプの場合、ボトルと栄養セットは、決まった量を手渡している。）
(注入用)シリンジ	10～20本	12本	
(胃瘻ボタンの蒸留水用)シリンジ		適宜2本	・2本（入っている蒸留水回収用・新しい蒸留水注入用）
栄養カテーテル	2～4本	4本	・感染予防の観点から、毎回入れ替えの場合は、週1回交換。留置したままの場合は、2週に1回交換。
シルキーボア		適宜1巻	
カテーテルジョイント(JMSコネクター)		4個	
エアウォール 120mm×20m		適宜1巻	
優肌絆不織布(肌)		適宜1巻	
ヒジガード		適宜1枚	
スレリ		適宜1本	
EN延長チューブ		5本	
EN変換コネクタ		2個	・2個（汚れと破損に対応の為）。
EN採液チップ		8本	
EN採液スズル		8本	
注射用水		適宜	
吸引カテーテルクリアクション		適宜	

2. 在宅人工呼吸指導管理料

【加算】人工呼吸器加算(1 陽圧式人工呼吸器、2 人工呼吸器、3 陰圧式人工呼吸器)
排痰補助装置加算、乳幼児呼吸管理材料加算(※6歳未満)

材 料	他府県の例	ベースライン ※個別性に合わせて	備 考
人工鼻	30個	30～31個	・日数に合わせて調整。
カニューレホリダ [®]	2本	2本	
滅菌Yカットガ [®] ーゼ [®] 滅菌クロスガ [®] ーゼ [®]	30枚	30～31枚	・日数に合わせて調整。
吸引カテテル	気管切開用 30本 鼻口腔用 5本	気管切開用 30～31本 鼻口腔用 30～31本	・日数に合わせて調整。
シリンジ [®] (カニューレカ7確認用)	1本	1本	
気管カニューレ	1本	適宜1本	・予備として渡すかは、施設で検討。
注射用水	30本	30～31本	・日数に合わせて調整。
アルコール綿	吸引回数に応じて	100～200枚	

3. 在宅気管切開患者指導管理料

【加算】気管切開患者用人工鼻加算

材 料	他府県の例	ベースライン ※個別性に合わせて	備 考
人工鼻	30個	30～31個	・日数に合わせて調整。
カニューレホリダ [®]	2本	2本	
滅菌Yカットガ [®] ーゼ [®] 滅菌クロスガ [®] ーゼ [®]	30枚	30～31枚	・日数に合わせて調整。
吸引カテテル	気管切開用 30本 鼻口腔用 5本	気管切開用 30～31本 鼻口腔用 30～31本	・日数に合わせて調整。
シリンジ [®] (カニューレカ7確認用)	1本	1本	
気管カニューレ	1本	適宜1本	・予備として渡すかは、施設で検討。
アルコール綿	吸引回数に応じて	100～200枚	

【参考資料】

－作成経緯－

2022年6月、県内小児基幹病院を対象に外来在宅指導管理の実態調査を実施。

■協力医療機関(五十音順)

伊勢赤十字病院
岡波総合病院
紀南病院
桑名市総合医療センター
済生会松阪総合病院
済生会明和病院
市立四日市病院
名張市立病院
松阪中央総合病院
三重県立総合医療センター
三重大学医学部附属病院
三重中央医療センター
三重病院

調査結果を元に、4病院にて意見交換会を開催し、『在宅療養指導管理料に紐づく小児の衛生材料支給ベースライン』を作成。

編集 三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター内
三重県医療的ケア児・者相談支援センター本部